

図書館をめぐる諸問題

図書館は国民の文化的水準の維持には欠かせないもので、同時に生きることの喜びをもたらす大事な場所でもあります。しかしながらベストセラー作品の複本がずらりと並んでいると、出版社や著作者の権利を侵害しているとも感じられます。

図書館の本来の在り方や未来像について、作家の立場から語っていききたいと思います。

三田 誠広 (作家・日本文藝家協会副理事長)

1977年『僕って何』で芥川賞受賞。作品は他に『いちご同盟』『空海』『日蓮』『親鸞』など。日本文藝家協会副理事長として著作権問題を担当。『図書館への私の提言』の著作がある。早稲田大学と武蔵野大学で25年にわたって小説創作の講座を担当。武蔵野大学名誉教授。



2021年

1月22日(金)

19:00～20:30 (18:30開場)

定員 60名 (事前申込順、定員に達し次第締切)

参加費 1000円

日比谷図書文化館

地下1階日比谷コンベンションホール(大ホール)

今後の新型コロナウイルス感染拡大状況により、変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

お申込み
ホームページのお申込みフォーム
電話(03-3502-3340)
いずれかにて
①講座名
②お名前(よみがな)
③電話番号
をご連絡ください。

小学生以下のお子様に参加される場合
保護者の同伴が必要です。
(同伴者の方にも参加費が必要です)

千代田区日比谷公園1-4 (日比谷公園内)
<https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>

都営地下鉄●三田線「内幸町駅」
A7出口/徒歩3分

東京メトロ●丸ノ内線●日比谷線「霞ヶ関駅」
B2出口/徒歩3分

東京メトロ●千代田線「霞ヶ関駅」
C4出口/徒歩3分

JR「新橋駅」
日比谷口(SL広場)/徒歩10分



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記の対策を実施していますのでご協力ください。
・ご入館時には手指の消毒、職員による検温、入館票のご記入(「貸出券番号」または「名前と電話番号」)をお願いします。
・館内では必ずマスクをご着用ください。
・会場定員は207名ですが、ソーシャルディスタンス確保のため定員を少なく設定し、募集を行います。